

会議結果報告書

- 1 会議の名称
令和4年度第2回光市立図書館協議会会議
- 2 開催日時
令和5年2月7日（火） 13時30分～15時
- 3 開催場所
光市立図書館 2階 視聴覚室
- 4 出席者
5名（欠席3名）
- 5 公開・非公開の別
公開（傍聴人0名）
- 6 会議の議事録（要旨）
 - （1）館長挨拶
 - （2）資格審査（委員8人中5人出席、協議会成立）
 - （3）議事
議題1 令和4年度事業の実施状況について
（委員）
コミュニティセンター図書館の今後のあり方協議の状況は。
（事務局）
光市立図書館の資料についての方針は、従来からの紙の本と令和3年1月に開設した電子図書館の2つを中心に進めており、電子図書館については、インターネットと繋がる環境があれば何時でもどこでも利用することができるため、図書館に来られない方にとって有効な学習ツールとなり、コミュニティセンター図書館に代わる新たなサービスであると考えている。
一方で電子図書館の維持管理には新たな費用が必要であることから、利用状況の観点から資料購入コストの整理をおこなった。
コミュニティセンター図書館については、旧公民館時代の流れから教育

委員会組織である本館で本の購入や管理を行ってきたが、今後は他の施設（学校、サンホーム、幼稚園保育園等）と同様に団体貸し出しで本を巡回させるサービスで対応したいと考えている。

議題2 令和5年度事業案について

（委員）

コミュニティセンターに新しい本が導入されなくなると、本も老朽化するので何れ、本は無くなるのではないかと懸念している。

また、現状のコミュニティセンターについて、図書室に本以外の物が混在しているところや、本がオープンスペースに置いてあるところもあり、職員が居ない時間帯もあるので、本の管理として問題点がある。

今後の要望としては、利用状況だけでなく、幅広い視野から今後のあり方を検討してほしい。

（委員）

コミュニティセンター図書については、所管部局も含め、図書館の問題とは少し違う気がする。

コミュニティセンター図書のあり方と関わり方にはコミュニティスクールも関心を持っており、地元の例では知育部会から関わりを発信していけると考える。

今後、この課題に取り組んでいきたい。

（委員）

今後についての検討には、まだまだコミュニティセンター図書の位置付けや諸問題の整理が必要なように感じる。これらを明確にしたうえで今後の協議を行ってほしい。

（事務局）

本日頂いた意見や提言を元に、引き続き協議を行ってほしい。

議題3 各委員からの提案事項等について

（委員）

新年度のコロナ対応の変更について、検討予定事項と変更時期等をお聞きしたい。

(事務局)

令和5年1月27日、国において、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症（COVID—19）について、感染症法上の新型インフルエンザ等感染症に該当しないものとし、2類から5類感染症に位置づけることが決定された。

今後、国からの情報や県の方針等を踏まえて市の対応も変更されることとなる。当館においても、日本図書館協会の『図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』等を参考に、対応をしていく。

来館者へは、混乱のないよう、ホームページや館内掲示等において、その都度、周知を図る。

現在の新型コロナウイルスの毒性や感染力が変化するわけではないことから、引き続き、図書館利用者への安全・安心に努める。

(委員)

小、中学校では感想文や感想画など、読書と触れ合うコンクールを多数開催しているが、みんなに知ってもらえる機会が少ない。図書館との共同企画でお披露目の場を創出できないだろうか。

(事務局)

現在、子どもの読書活動推進については、様々な取組を進めている。

これは、「第4次光市子どもの読書活動推進計画」に基づくもので、第4次の基本理念は、「つながる読書活動を目指して」としている。

小学校・中学校をはじめ、幼稚園・保育所、計画対象の18歳までの高校とも、連携を図り、子どもと本をつなげていきたいと考えている。

良いご提言をいただき、ありがたい。

実施に向けて、準備できればと考えているので、小学校部会、中学校部会へは、引き続きご協力お願いします。

7 問い合わせ先

光市立図書館

電話番号：0833-72-1440